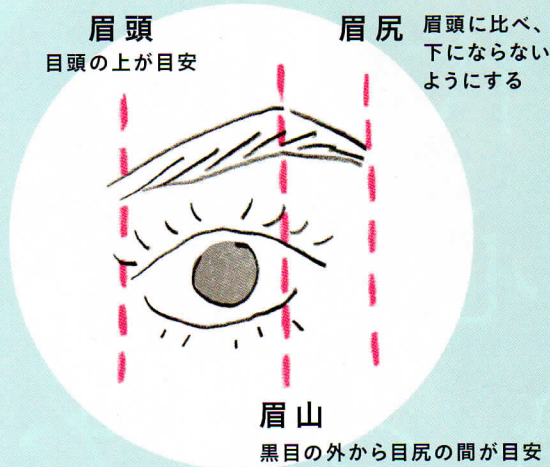


若返り効果がある眉毛



ポイント

びきゅうきん
眉弓筋(驚いた顔をした時などに眉を引き上げる筋肉)に沿って描くことを意識しましょう。鏡の前で驚いた顔や笑顔をつくって、眉の動く位置を確かめるとわかりやすいです。手元が安定せずに描きづらい人は、机などに肘をつけて描いてみましょう。

若々しい眉は太く長く

眉は「顔の額縁」。眉によって顔の印象はがらりと変わります。年齢を重ねると、毛量が減り、目元の筋肉や皮膚が変化するので、状態に合わせた描き方が大切です。細く短い眉は顔の輪郭がぼやけて、頬が垂れて見えてしまうので、眉は太く長くを意識してみましょう！

眉の描き方

- 1 アイブロー用のパウダーとペンシルの両方を使うと便利。色は優しい印象を与える薄い茶やグレーがおすすめです。
- 2 眉頭・眉山・眉尻の位置を決めて、左の図のように描きましょう。
- 3 眉全体にパウダーをのせてから、ペンシルで毛を1本ずつ描き足しましょう。眉の輪郭はブラシなどでぼかすと自然に見えます。

元気な血色感あるチーク

簡単チークで印象アップ!

チークは顔色全体を明るく見せるためには、大事なアイテムのひとつ。しかし、明るくしようと鮮やかな色を選ぶと、世代に合わないチークになってしまうことも。年齢を重ねた女性の「下がる」「凸凹」「陰」「くすみ」という気になる悩みに対応するにはつやが必要で、す。「陰を消して色つやオン。フワッと上向きの頬」を目指しましょう。

簡単チークで若々しく

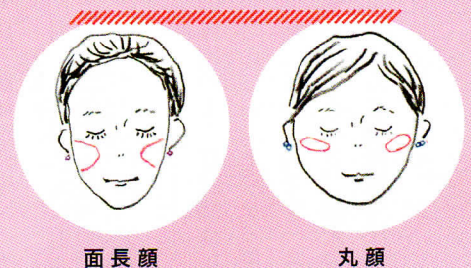
1 色選びはピンク系がおすすめ!

気分が華やぐピンク系がおすすめ。ピンクを使うのに勇気がいるという方や、少し日に焼けているという方はオレンジがかったサーモンピンクを選ぶと、より肌になじみます。ややくすみ気になる肌には、サーモンピンク、コーラルピンクが自然になじみます。

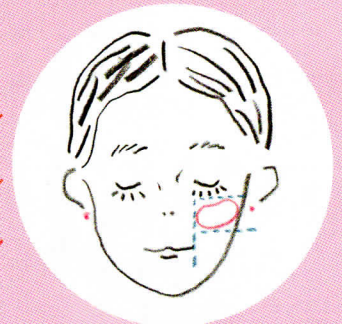
2 ブラシの使い方

意外に見落としてしまうのが、ブラシにチークを「含ませる量」と「動かしか方」。ブラシは表面だけでなく、内側までたっぷりチークの粉を含ませるのがポイントです。その後、手の甲で一度粉の量を調整することで準備が完了です。最後にブラシを寝かせながら、柔らかく円を描くように頬にチークを入れるとキレイに肌になじみます。

顔形別チークの入れ方



基本的なチークの入れ方



3 コツはふんわりと円を描くように

チークを入れる時の最大のコツは、にっこり笑うこと。頬のいちばん高くなったところにふんわりと円を描くように入れるだけで、失敗知らずの元気な血色感チークの完成。